

企画セッション1

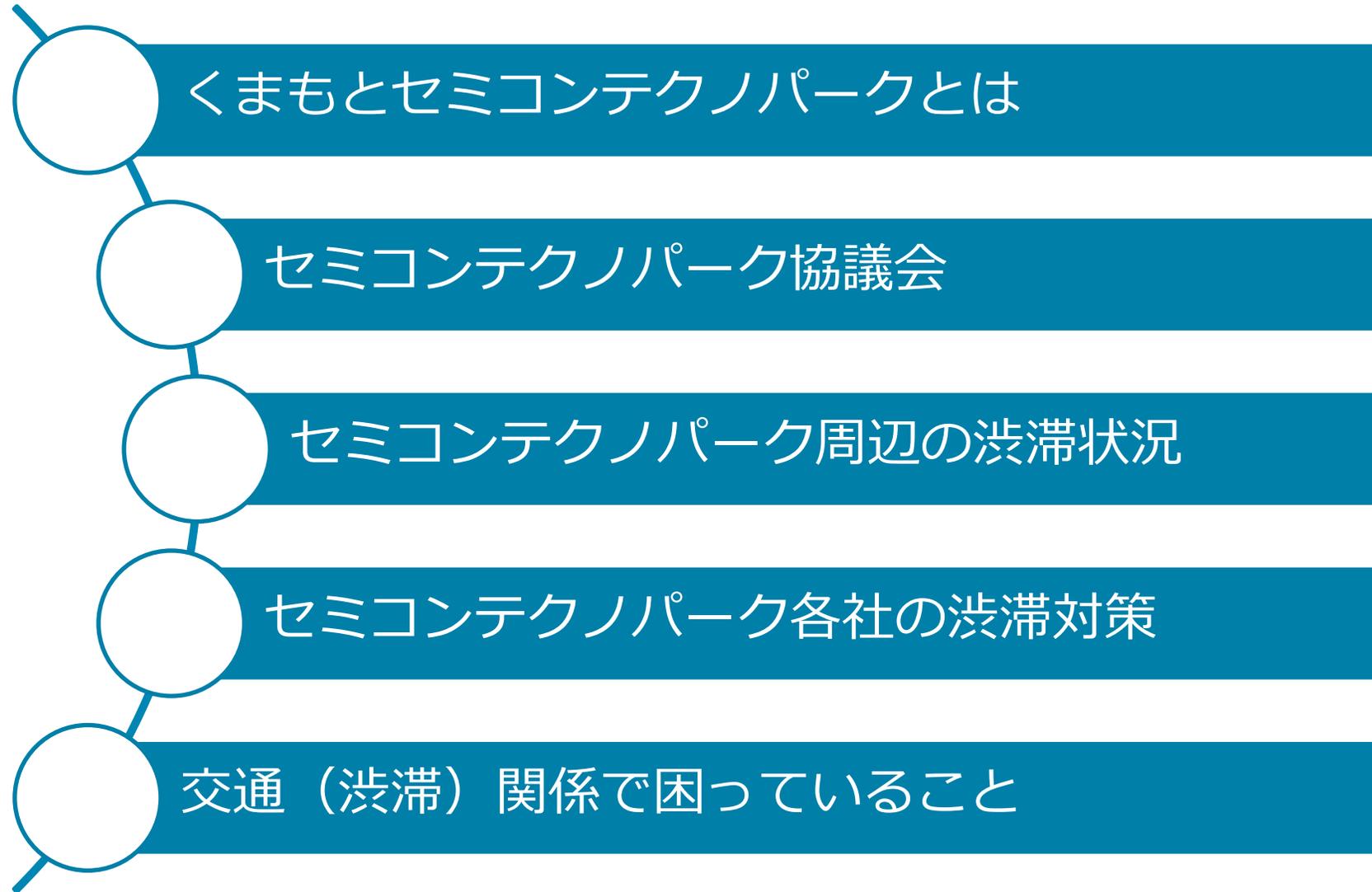
半導体産業で盛り上がる熊本から考える交通とまちづくり

セミコンテクノパークと周辺の渋滞状況

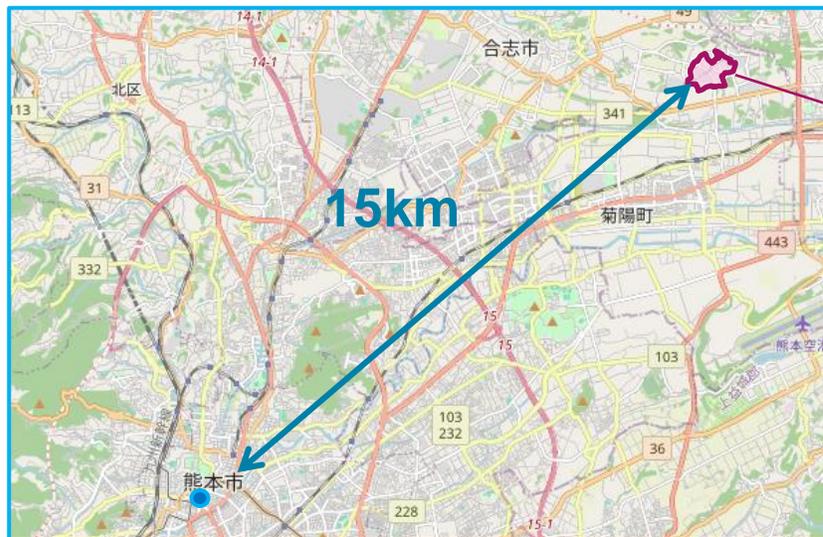
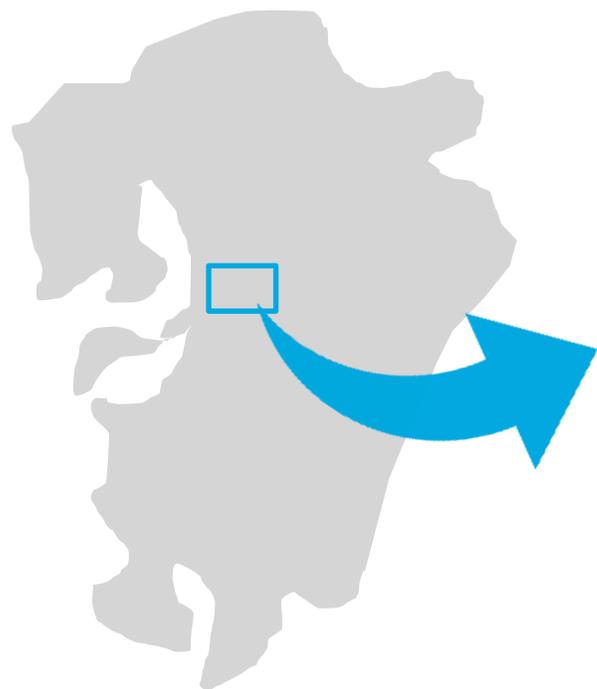
2024年12月12日

セミコンテクノパーク協議会 会長
東京エレクトロン九州株式会社 常務執行役員
伊藤 和彦

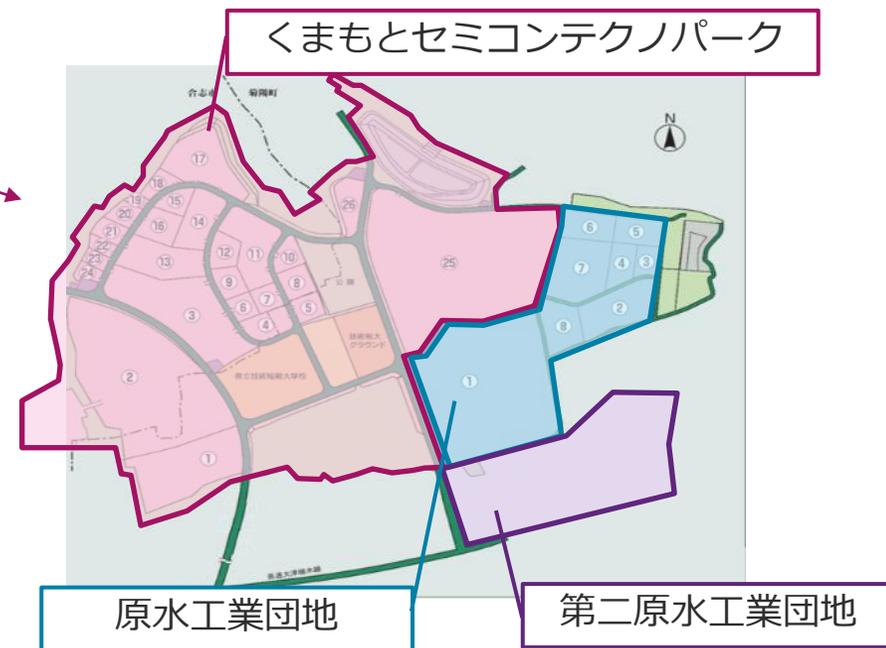
本日のアジェンダ

- 
- くまもとセミコンテクノパークとは
 - セミコンテクノパーク協議会
 - セミコンテクノパーク周辺の渋滞状況
 - セミコンテクノパーク各社の渋滞対策
 - 交通（渋滞）関係で困っていること

くまもとセミコンテクノパークとは



(出典) © OpenStreetMap contributors



整備の背景 : 昭和57年 (1982年) に発表した「熊本テクノポリス基本構想」に基づき、地域企業が誘致企業との受発注をとおして技術力を高め、新分野の開拓や新製品の開発等を行うことが出来るような「起業化のための活動拠点」として、熊本県が整備

総面積 : 952,761.07㎡ (うち分譲地 467,914.54㎡)

分譲開始 : 1997年

立地企業数 : 18社 (2024年現在)

※いずれも原水工業団地、第二原水工業団地を含まないデータ

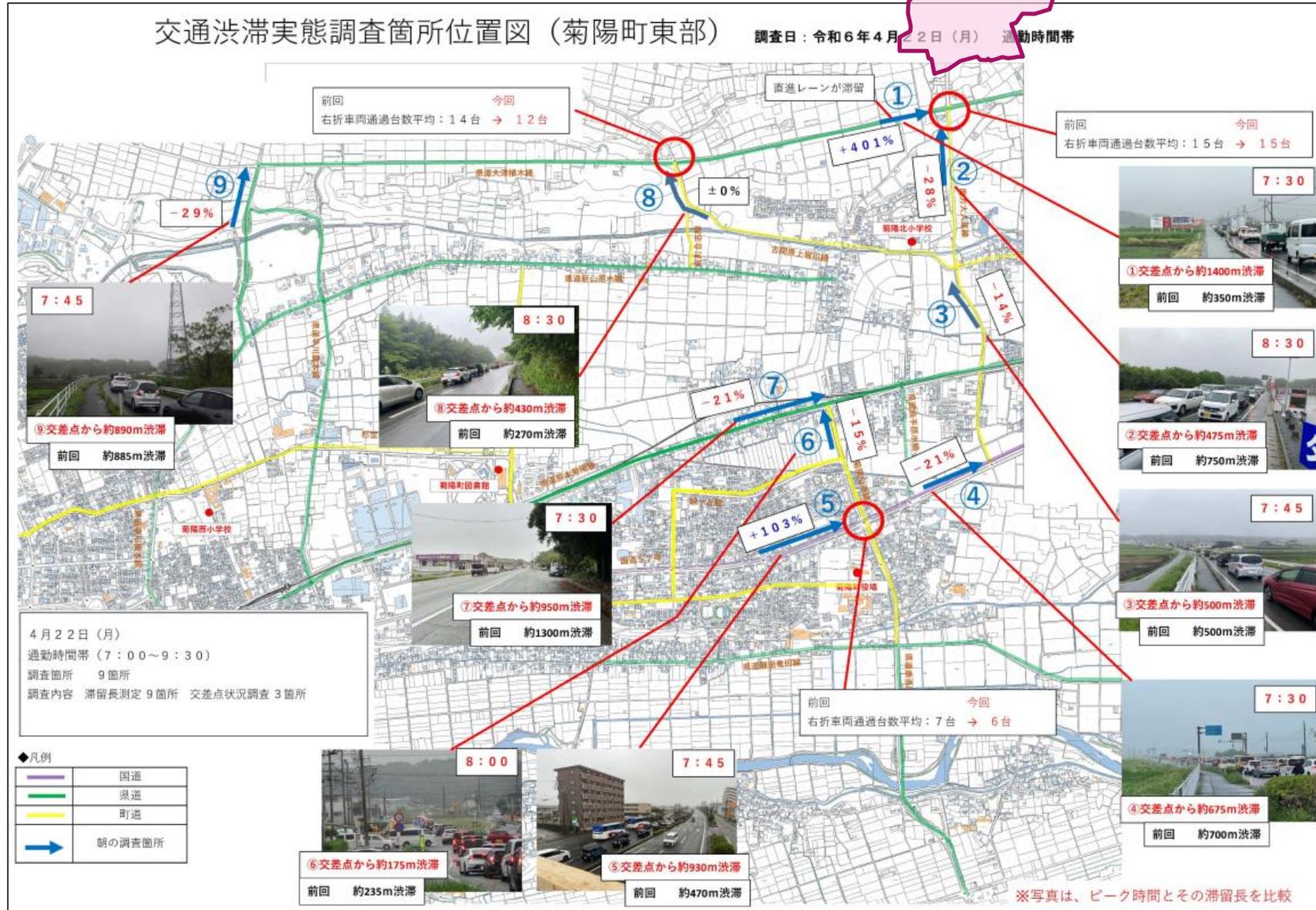
セミコンテクノパーク協議会

- 設立年月 : 2002年3月
- 設立目的 : セミコンテクノパークに進出した企業等の相互協力と親睦につとめ、セミコンテクノパークの環境整備の推進を図るとともに、地域との交流を深めていくこと
- 会員数 : 26機関 (25社、1校)
他オブザーバーとして行政3機関
(2024年10月時点)
- 従業員数 : 約12,000名
- 主な活動 : セミコンテクノパーク周辺の交通誘導
セミコン通勤バスの運営主体 (赤字補填)
環境美化活動
周辺道路実態調査
スポーツ大会ほか



最近では周辺地域の渋滞対策協議なども行っています

セミコンテクノパーク周辺の渋滞状況① (朝)



(出典) 熊本県 菊陽町「第3回交通渋滞実態調査」資料

セミコンテックノパーク各社の渋滞対策

セミコンテックノパーク協議会 共通

- 生活道路を通行しないよう通勤禁止道路の設定
- 工事車両の7:30-9:00の入構制限

ソニーセミコンダクタマニュファクチュアリング株式会社

- 在宅勤務の制度化
- 任意に就業時間を決められる完全フレックス制の導入
- ノー残業デーの分散実施

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社

- セミコン通勤バスや自社運営バスの利用を促進し、自家用車通勤を6割以内に抑制

東京エレクトロン九州株式会社

- 従業員約4,000人を対象に就業時間を変更し、渋滞のピーク時間をさけた時差出勤

交通（渋滞）関係で困っていること

渋滞対策全般

- 周辺の主要な道路インフラの完成時期が2028年度であり、それまでソフト対策が必要だが、既存の取組み以外の手段が思いつかない
- 道路整備工事による車線規制や道路新設（仮接続）による新たな渋滞の懸念
- 信号制御の最適化に関する懸念/要望

公共交通機関

- 公共交通機関へのシフトが進まない
 - 2023年度にバス実証実験を行ったが利用者伸びず中止
- 通勤バスの日中運航やJRの拡充がなかなか進まない
- 人手不足によりタクシーが手配できない

情報

- 渋滞の発生メカニズムや原因がわからない
- 季節的な傾向はあるものの、日によって渋滞状況が異なり、到着時間が読めない
 - 朝や夕方の会食予定のために相当早く動かないといけない
 - VICSと実際の渋滞状況に乖離があり、タイムリーな確認がしづらい